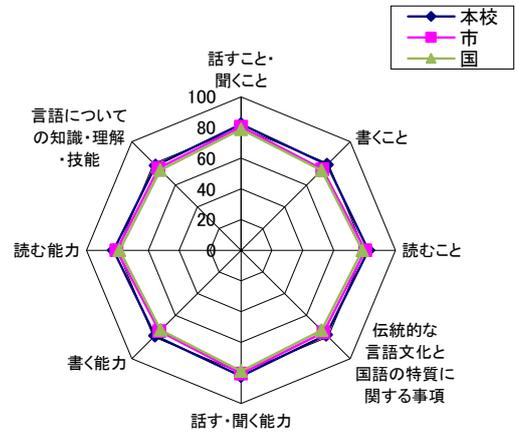


# 宇都宮市立陽東中学校第3学年【国語】分類・区別正答率

## ★本年度の国、市と本校の状況

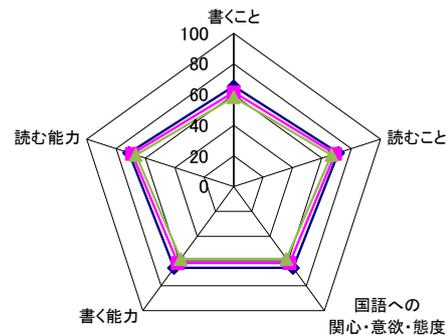
### 【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	82.2	80.5	78.9
	書くこと	78.8	74.7	73.7
	読むこと	82.5	80.5	78.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	78.1	75.6	73.9
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	82.2	80.5	78.9
	書く能力	78.8	74.7	73.7
	読む能力	82.5	80.5	78.6
	言語についての知識・理解・技能	78.1	75.6	73.9



### 【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと			
	書くこと	65.5	61.6	58.3
	読むこと	71.2	69.1	66.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			
観点	国語への関心・意欲・態度	65.5	61.6	58.3
	話す・聞く能力			
	書く能力	65.5	61.6	58.3
	読む能力	71.2	69.1	66.6
	言語についての知識・理解・技能			



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○3.3ポイント全国平均を上回っている。特に「聞き手の立場を想定し、話の中心的部分と付加的な部分との関係に注目して話す」では5.4ポイント、「互いの発言を検討して自分の考えを広げる」では7.9ポイント高い。 ●全国平均と比べて、「目的に応じて資料を効果的に活用して話す」では0.7ポイント、「話の展開などに注意して聞き、自分の考えと比較する」でも0.7ポイント下回っている。	・スピーチなどの活動を行う際には、聞き手を想定した条件スピーチ活動を取り入れ、聞き手の立場に立った説得力のある資料を提示するよう指導していく。また、話の展開を確認しながら聞く習慣や、自分の考えと比較しながら聞く習慣を身に付けるため、テーマに沿った話し合い活動を繰り返し指導していく必要がある。
書くこと	○国語Aでは5.1ポイント、国語Bでは7.2ポイント、全国平均を上回っている。特に国語A「集めた材料を整理して文章を構成する」では8.8ポイント、国語B「本や文章などから必要な情報を読み取り根拠を明確にして自分の考えを書く」では10.0ポイント高い。 ●全国平均と比べて下回っているものはないが、国語A「文章を読み返し、文の使い方などに注意して書く」では2.6ポイント、国語B「文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを書く」では3.4ポイント高いだけに止まっている。	・文章の構成力向上のために、意見と根拠を明確に区別したり、反論を推測したり、接続詞や段落構成を工夫したりするなど、論証の組み立て方のスキルを身に付けさせる。また、推敲が確実にできるよう、文章を読み返すときの観点についても指導する必要がある。
読むこと	○国語Aでは3.9ポイント、国語Bでは4.6ポイント全国平均を上回っている。特に国語A「文脈の中における語句の意味を理解する」では6.7ポイント、国語B「文脈の展開に即して内容を理解する」では6.0ポイント高い。 ●全国平均と比べて、国語B「目的に応じて必要な情報を読み取る」では0.6ポイント下回り、国語A「文章の構成や展開について自分の考えをもつ」では0.3ポイント高いだけに止まっている。	・多様な情報の中から必要な情報を選別する力を身に付けさせる必要がある。そのためには、複数の本や資料から得た情報について、その真偽や適否を見極めるとともに書かれている内容を自分と結びつけて考えるよう指導していく。また、目的や意図に応じて主体的に情報を収集する学習活動を取り入れる。日常の中で慣れ親しんだジャンルの読書ではなく、情報収集のための読書の意義を理解させ、幅広く読書を行うことの意味を生徒一人一人に実感できるように指導する。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○全国平均と比べて4.2ポイント上回っている。特に「文の成分の照応について理解する」では6.3ポイント、「文字の形や大きさ、配列に注意して書く」では9.8ポイント高い。 ●全国平均と比べて、「歌に表れた作者の思いを想像する」では0.3ポイント低い。また「文脈に即して漢字を正しく書く」では設問により1.2ポイント低いものから7.0ポイント高いものまで差がある。	・生徒になじみの薄い語句に関しては、現在行っている辞書の活用とともに、新聞のコラムや評論などの多様な文章の資料を提供することで、語彙を広げていく。また、漢字については、正答率の高い漢字で全国平均より低く、正答率の低いもので全国平均より高かったことから、現在行っている毎時間の新出漢字5題テストだけでなく、既習漢字の反復学習を適宜取り入れていく。